

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-051857

(43)Date of publication of application : 25.02.1994

(51)Int. Cl.

G06F 1/00

G06F 3/16

(21)Application number : 04-224883

(71)Applicant : HUDSON SOFT CO LTD

(22)Date of filing : 31.07.1992

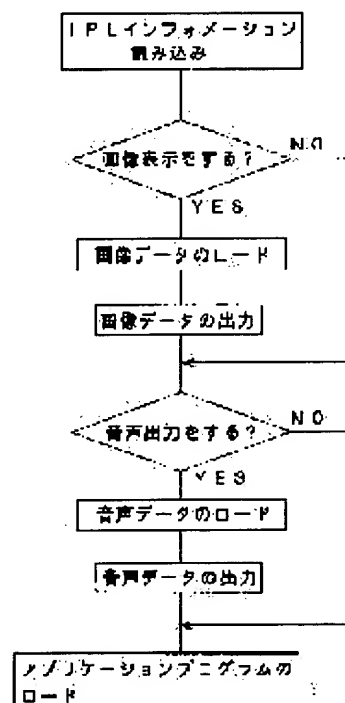
(72)Inventor : KOBAYASHI HIROKI

(54) METHOD FOR OUTPUTTING VOICE AND IMAGE

(57)Abstract:

PURPOSE: To save the time required for programming and information display by obtaining the method for outputting voice and image before an application program is executed.

CONSTITUTION: An initial program loader is written with the output designation of voice and image data in the information block of a certain IPL sector. The desired voice and image data to be outputted are prepared in the format of BIOS standard, and BIOS reads and outputs the voice and image data according to the output designation on IPL information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 05.01.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3074223

[Date of registration] 02.06.2000

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-51857

(43) 公開日 平成6年(1994)2月25日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 1/00	3 7 0 B	7165-5B		
3/16	3 3 0 C	7165-5B		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-224883

(22) 出願日 平成4年(1992)7月31日

(71) 出願人 591095856

株式会社ハドソン

北海道札幌市豊平区平岸3条7丁目26番地

(72) 発明者 小林 敬樹

北海道札幌市豊平区平岸3条7丁目26番地

株式会社ハドソン内

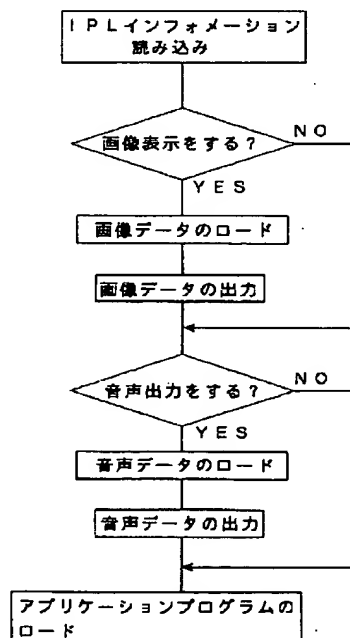
(74) 代理人 弁理士 豊田 正雄

(54) 【発明の名称】 音声および画像の出力方法

(57) 【要約】

【目的】 アプリケーションプログラム実行前に音声および画像の出力方法を得て、プログラミング及び情報表示に要する時間の省力化を図る。

【構成】 初期プログラムローダーがあるIPLセクタ中のインフォメーションブロックに音声および画像データの出力指定を書き込んでおく。出力したい音声および画像のデータは、BIOS規定のフォーマットで用意し、BIOSにIPLインフォメーション上の出力指定に従って、音声および画像のデータ読み込みと出力を行わせる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 音声出力機能および画像出力機器を付帯するコンピュータ装置において、初期プログラムローダを持つIPLセクタのインフォメーションブロックに音声および画像のデータの読み込み指定と出力指定を書き入れ、BIOS基本入出力ルーチンを用いてBIOS規定のフォーマット形式の音声および画像データの読み込みと出力を行うことを特徴とする音声および画像の出力方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、コンピュータ装置においてアプリケーションプログラム起動前の音声および画像の出力方法に関する。

【0002】

【従来の技術】一般的にコンピュータ装置における音声および画像の出力は、アプリケーションプログラムのなかでプログラミングによって指定されている。ハードウェア、ソフトウェアがオペレーティングシステムによって管理されているコンピュータの音声および画像の出力を行う場合を例にとりて説明する。

【0003】コンピュータに電源投入後、オペレータのコンソールを通じての指示、または自動でオペレーティングシステム(OS)が立ち上げとなる場合、ハードウェアの基本入出力ルーチン(BIOS)にあるブートストラップローダが初期プログラムロードを担う。

【0004】BIOSは、通常、0トラックの第1セクタにあるIPLセクタをメモリ上に読み出し、次にIPLがOSをメインメモリに読み込み、OSが起動される。OS起動後は、OSからアプリケーションプログラムの実行等のソフトウェア動作管理や各種の資源管理を行っている。アプリケーションプログラムが実行されることによってはじめて、音声および画像の出力が行われている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】以上のように、従来、音声および画像は、アプリケーションプログラムの中で出力をプログラミングすることによって処理が行われている。アプリケーションプログラムの起動あるいはロード以前に音声および画像の出力は行われていない。特にバッチ処理でアプリケーションプログラム起動まで自動で行われる際は、コンピュータ起動後からアプリケーションプログラム起動までの間が、ユーザーにとって単なる待ち時間となる。

【0006】実行するアプリケーションプログラムが、主に音声および画像での情報表示を目的とする場合、実際には情報表示の所要時間が、この待ち時間だけ余分にかかっている。

【0007】一連の情報を表示する場合、総じて最初に表示される内容は、情報の名称あるいはタイトル、表紙

あるいは目次に該当するものである。続いて表示される本文的なものとは性質が異なっているため、1つのプログラムの中で、最初に表示される内容を他と同様に取り扱うことは、プログラミングを複雑なものとしている。

【0008】本発明は、アプリケーションプログラム実行前に音声および画像の出力方法を行ってプログラミング及び情報表示に要する時間の省力化を図ることを目的とする。

【0009】

10 【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明では、初期プログラムロードに利用されるIPLセクタ中のインフォメーションブロックに着目し、ここに音声および画像データの出力指定を書き込んでおく。

【0010】出力指定としては、音声および画像データの読み込み指示と出力指示が主として書き込まれている。出力したい音声および画像のデータは、BIOSで取り扱えるように規定のフォーマットで用意する。

20 【0011】コンピュータに電源投入後、BIOSが、IPLセクタをメモリ上に読み出した後、IPLインフォメーションを読み込む。BIOSはIPLインフォメーションの音声および画像の出力指定に従って、用意されている規定フォーマットのデータを読み込んで音声および画像の出力を行う。

【0012】本発明の音声および画像の出力方法の一例についてフローチャートとともに説明する。図1は本発明の音声および画像の出力方法の一例を示すフローチャートである。BIOSはIPLインフォメーションを読み込み、インフォメーションに画像出力の要求があれば画像データをロードし、出力する。

30 【0013】この例では画像出力を先に処理するようになっており、画像データの出力後、音声出力の要求の有無を判断して、IPLインフォメーションに従ってBIOSが音声データをロードし出力する。BIOSが音声および画像の出力を終了すると、アプリケーションプログラムがロードされる。

【0014】

40 【発明の効果】本発明の音声および画像の出力方法によれば、IPLブロックに音声および画像の出力指定をすることによりアプリケーションプログラム起動以前に音声および画像の出力が可能となる。

【0015】また、アプリケーションプログラム実行前の待ち時間を利用してユーザーにより多くの情報提供を行うことにより、情報表示に要する時間の省力化を図ることが出来る。音声および画像出力による一連の情報表示を目的とするアプリケーションプログラムのプログラミングの省力化を図ることが出来る等の効果がある。

【図面の簡単な説明】

50 【図1】本発明の音声および画像の出力方法の一例を示すフローチャートである。

【図1】

